

紙申請書の全システム化への第一歩 ～拝啓 六十四の君へ～

グループ1

このテーマを選んだ理由

大学におけるDX化どのようなものか？各大学で何に困っているのか？
話し合った結果・・・



デジタル化の第1段階「デジタルイゼーション」の実現でも障壁がある！
(=紙派・デジタル推進派の意識の差)



今回は**最初のシステム化の導入までの道筋**を提示します。

今から皆さんは
全くDX化に着手していない
某私立大学の学長（64）です
（＝紙派の人間）

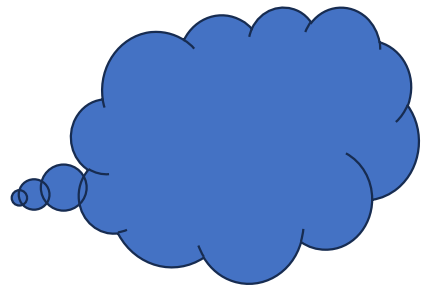


あなたは、このような考えを持っています・・・

- ・ システムは疲れる
- ・ そもそも使えない
- ・ 紙にメモしたい
- ・ できる人がいないし、誰に相談すればいいかわからない
- ・ データ保存は信じていない
- ・ DX化は楽しってるだけじゃないか
- ・ 人と関わりたい
- ・ システム導入の予算や手間がかかる
- ・ 印鑑じゃないと



今から某私立大学の学長 (64)
(=皆さん)
に**プレゼン**します



=我々の心の声

紙廃止のメリット

サービス提供側	サービス享受側		
事務	学生	事務	教員
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙・印刷コスト減。 ・ 窓口での言った言わない問題に対応できる。 ・ 事務処理時の入力ミス、紛失問題に対応できる。 ・ 事務処理のスピード化。 ・ データの一元管理ができる。 ・ 運用そのものを見直すきっかけになる※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙・印刷コストを減らせる。 ・ 印刷の手間を省ける。 ・ 手持ちのスマホやPCから申請できる。 ・ 時間・場所問わず申請できる。 ・ 必須項目等の入力漏れを防げる。 ・ 決裁や申請承認までのスピード化を図れる。 ・ データの一元管理ができる。（他部署でも有効活用できる） ・ 提出データの履歴を確認できる。 		

※運用を変えればDXすら必要ない、そもそもその申請は不要、…などの見直しができる。

どうやってスタートするのか？

スタートは：まずは学生にかかわるものから始めます！

学生のスマホ・PCの持参率は高く、手間より「利便性の高さ」を好むはず。

学生生活の満足度向上にかかわるはず。

徐々に学内の紙申請をシステム化しやすくなるのでは？

- ・住所変更
- ・授業欠席届（公欠扱い）／試験欠席届
- ・施設利用
- ・出席届
- ・機器借用

など



**学生を味方にして、
システム化を進めたい**

具体案①②

①出席届

出席届をシステム化

【最終ゴール】

- ・紙の出席届や
リアクションペーパーの廃止

【流れ】

- ①出席システムの導入、検討
 - ・スマホ・PCから出席提出
 - ・学内wifi接続やGPSで学内判定
 - ・コメント等も提出できる
 - ・オンライン授業でも出欠をとれる
- ②教員は出欠履歴をダウンロードできる
↓
紛失防止、代理出席のリスク低減！

②施設利用の申請

施設利用の申請をシステム化

【最終ゴール】

- ・紙申請の廃止
- ・空き教室のリアルタイム表示へ発展

【流れ】

- 専用システムの導入または
まずはForms等を活用するなど…
- ①学生の申請システム化
 - ②事務・教員ともに申請システム化
 - ③空き教室のリアルタイム表示
↓
紙の廃止！
空き教室を確認できる！

サポート案

学内各所にサービス案内タッチパネル等設置

- ・ 窓口に相談に来なくてもパネル上で案内を見ることができる。
- ・ 窓口に遠隔相談サービス付き。
- ・ 空き教室を確認できる。

マニュアルサイトの整備

- ・ スマホやPC上でマニュアルをいつでも確認できる。

アンケート実施

- ・ 学生のニーズ等を収集し、今後の改善に役立てます。

今後のエビデンスとしても
活用したい…

手厚いサポート体制で学生の満足度向上！

まずは学生へのサービスから
コツコツ始めてみませんか？
皆さんの協力が必要です。

ご清聴ありがとうございました



協力してくれますよね！？
学生のためですよ！？

紙にこだわる派



紙にこだわる派

- ・システムは疲れる、そもそも使えない
- ・紙にメモしたい
- ・（仏教系）紙にこだわる教員の力が強い
- ・固定観念が強い（これじゃないとだめ）
- ・データ保存を信じていない
- ・根性論。DX化は楽してる
- ・人と関わりたい
- ・システム導入の予算や手間が懸念
- ・できる人がいない、
誰に相談すればいいかわからない
- ・印鑑へのこだわり

納得させるには？（キーワード）

- ・ビジョン、計画
- ・やり方、教育・研修、相談窓口
- ・法的・セキュリティ面の配慮
- ・紙からシステムへの移行方法
（トップダウン？ワーキング？できる人から？）
- ・紙よりも簡単かどうか
- ・エコ、コスト
- ・成功事例、話題性
- ・視察に行って報告する。（ライバル大学の実情）

学生のシステム化実現へのロードマップ

・フェーズ1: 現状分析と目標設定

・フェーズ2: 業務の見直しと戦略の策定

・フェーズ3: パイロットプロジェクトの導入

・フェーズ4: DX文化の醸成とDX人材の育成

・フェーズ5: 評価と改善、全学展開

紙の申請書をシステム化したい派 「こういうメリットがあるんです！」を明確に伝える

システム化したい派

- ・紙・印刷コストを減らしたい
- ・印刷面倒
- ・窓口手続きの手間を減らしたい
- ・言った言わない・紛失問題、災害対応
- ・そもそも制度自体をより合理的にしたい
- ・スピード感
- ・担当者がいないと対応できない
- ・新たな問題を見つけたい。
(そもそも要らない申請の発見、
運用面の改善を見込めるかも)
- ・サービスを受ける側にメリットが発生する。

★目的・メリットを伝える機会が必要

- ・数値化できるもの（コスト、残業量など）
- ・他大学の実情、世間の流行り
- ・アンケート、周囲の意見の反映
- ・サービスを受ける側のメリット



何をどこまでシステム化するのか？

システム化できる書類の選択：しらみつぶしに精査するしかない。

- ・絶対紙でないといけない
- ・システム化しなければならない
- ・システム化できる（低コスト）
- ・システム化できる（高コスト）
- ・システム化＋運用面の変更
- ・そもそもその申請は要らない …など

【BUT】懸念

- ・とっつきやすいシステム
- ・マニュアル、相談窓口、勉強会
- ・導入の手間・コスト
- ・管理できる人がいるか
- ・継続する手間
- ・継続する費用

某私立大学の立ち位置

	トップがDX推進派	トップ紙派
トップダウン型の大学	トップから指示	
ボトムアップ型の大学		

紙の申請書を システム化したい派 vs 紙にこだわる派

システム化したい派

- ・紙・印刷コストを減らしたい
- ・印刷面倒
- ・窓口手続きの手間を減らしたい
- ・言った言わない・紛失問題、災害対応
- ・そもそも制度自体をより合理的にしたい
- ・スピード感
- ・担当者がいないと対応できない
- ・新たな問題を見つけたい。
（そもそも要らない申請の発見、
運用面の改善を見込めるかも）
- ・サービスを受ける側にメリットが発生する。

紙にこだわる派

- ・システムは疲れる、そもそも使えない
- ・紙にメモしたい
- ・（仏教系）紙にこだわる教員の力が強い
- ・固定観念が強い（これじゃないとだめ）
- ・データ保存を信じていない
- ・根性論。DX化は楽してる
- ・人と関わりたい
- ・システム導入の予算や手間が懸念
- ・できる人がいない、
誰に相談すればいいかわからない
- ・印鑑へのこだわり